

信州型健康ゼロエネ住宅（仮称）指針 構成（案）

（「指針」の「章立て」と、盛り込むべき「内容・項目」及び「エビデンス」）

1 総則

「地球温暖化の状況と展望」、「信州の気候風土」及び「信州の住宅事情」等を踏まえた上で、目指す「信州型健康ゼロエネ住宅」について提示

2 信州型健康ゼロエネ住宅の基準

「信州型健康ゼロエネ住宅」が目指す住宅像について数値目標等から明らかにする

【主な内容・項目】

- ◇外皮性能基準（ U_A 値）
 - ・基本基準（壁内充填断熱のみで達成可能）
 - ・推奨基準（50mm程度の外張断熱の付加）
 - ・先導基準（高度な断熱性能の追求）
- ◇気密性能基準
- ◇一次エネルギー消費量削減率

- ◇創エネルギー設備の設置基準
- ◇県産木材の利用率（量）の基準
- ◇建築計画の工夫

【エビデンス等】

- ・断熱仕様の早見表
- ・モデル住宅設計・計算例
- ・独自ルール策定の場合などの根拠

3（1）ゼロエネルギー化の手法

エネルギーベースでゼロを目指す「ゼロエネルギー化」の視点から、手法を提示

【主な内容・項目】

- ・一次エネルギー消費量の削減手法（高効率設備の種類と選択等）
- ・創エネルギー設備の設置
- ・レジリエンス性の確保（蓄電池等）

【エビデンス等】

- ・高効率設備の省エネ効果
- ・太陽光発電設備の必要量
- ・その他省エネ設備に関するデータ

3（2）ゼロカーボン化の手法

建設段階から使用期間を経て除却に至るまで出来るだけCO2を排出しない「ゼロカーボン化」の視点から、手法を提示

【主な内容・項目】

- ・構法、材、建材の選択
- ・エネルギーの選択
- ・地域内経済循環
- ・コンパクトシティ

【エビデンス等】

- ・木造住宅、県産木材等の優位性
- ・バイオマスエネルギーの優位性
- ・地域内経済循環に係るCO₂削減効果

3(3) 建築計画の手法（信州らしさ）

建築計画の工夫で達成可能な環境負荷を軽減する手法の提示

豊かな住空間を創出する住まいづくりの手法の提示

【主な内容・項目】

- ・ 建築計画（配置、平面、日射、通風等）
- ・ 外構、植栽計画
- ・ その他
（長寿命化、使いやすさ、新生活様式への対応、伝統技能の活用 等）

【エビデンス等】

- ・ 建築計画の工夫による効果
（日射の取得・遮蔽の効果等）

4 ゼロエネ住宅の利点

ゼロエネ住宅を選択することが、経済的にも健康の面でも適切な選択であることの提示

【主な内容・項目】

- ・ コストの比較
- ・ 健康長寿との関連性

【エビデンス等】

- ・ イニシャル+ランニングのモデル試算
- ・ スマートウェルネス研究成果の概要

5 既存ストックの活用・改修

既存ストックの活用方針の提示

既存ストックの状況に応じた活用・改善策の提示

【主な内容・項目】

- ・ 住み継ぎ、住み替え、空き家活用
- ・ 既存の断熱性能に応じた改修手法
（大規模・部分改修、ヒートショック防止）

【エビデンス等】

- ・ 改修による性能改善のモデル試算
- ・ 改修前後の健康増進効果

《推進方策》

- ◇ 地域工務店等の支援
技術の普及向上、標準仕様の登録（認定）、性能のラベリング
- ◇ 補助制度の見直し
- ◇ 地球温暖化対策条例の改正
（省エネ計画概要書報告・閲覧制度の導入）

